

集会案内

日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinihongokyoikai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

◎石叫■

「関東、東北大地震」

此の度の巨大地震は、私が東海道線で大磯に帰る途中、戸塚駅で発生した。停車中の車両がゆれ始め、収まる気配のないそのゆれは十分近く続き、その後もひっきりなしの余震。「大地震発生、列車の運行は取り止め。開通の見込みなし」との車内放送だけで他の情報は一切なし。重い荷を持ち足腰の不自由な私だ。助けを求めて八方に携帯をかけるが電話は不通。次の駅まで振かえのバスがあると報せで次々と乗客は去り、私だけが残った。ついに「復旧の見込みはなく乗客全員が車両を降りろ」との命令が降り、見知らぬ駅前のタクシー乗り場に辿り着いた時、すでに百人を越す人々の黒い列ができていた。寒さと不安の中で、窮地に追い込まれた昔の沢山の出来事が脳裏に浮かんだ。その時に必ずしたように、その夜も手くびの脈を確かめた。「まだ生きている。あきらめるな」との内なる声に吾にかえった。その時だ。一台の車が大磯行きを引き受けてくれ、家に辿り着いたのは午前二時。そしてテレビで初めて知った今日の巨大地震と津波の惨状！

物欲と享楽に流され、つっしみと忍耐を忘れたこの頃の日本人の行く末を憂えていたが、目の前で家も肉親も失う惨劇を受けながら、誰一人として取り乱さず他の悲運に手を貸そうとする北国の人々の、神々しいまでの気品を見た。誇り高い日本人の魂はこの人達の心の中に生き残っていた。「命というもの」堀文子著 二〇一一年六月号『サライ』から抜粋)

ヨセフは兄弟に妬まれエジプトに売られたが、ファラオ(王)の夢を解いたことで宰相に君臨した。その後、食料を得るためにイスラエルから来た兄弟たちと会う。彼らは仕返しを恐れたが、ヨセフは「神は大きい救いをもってあなたがたの命を助けるために、わたしをあなたがたよりさきにつかわされたのです」(創世記四五・7)と、神の偉大な「計画が背後にあったことを宣言する。想定もしないような出来事が起こるのが人生だとすれば、そこに神の導きがあったと信じることもまた人生である。あらがうことができない出来事も信仰をもって受け入れる時、それが生きる力と希望に変わってゆくのではあるまいか。

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力ですべての礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。